

10/5 「描いて」文化財に親しみ知る
ぎのわんの文化財図画作品展表彰式



市立博物館において、第32回「ぎのわんの文化財図画作品展」表彰式が行われ、各部門ごとに受賞した児童生徒が表彰されました。今年は、小学校中学年の部に29点、小学校高学年の部に39点、中学校の部に28点の応募があり、博物館の平敷兼哉館長は「今年もアイデアにあふれた作品が多く出品されており、見ていて楽しい気分になります。本作品展を通して、文化財をもっと知り、好きになっていただけたら嬉しいです」と激励しました。

10/23 輝け!未来のなでしこジャパン!!
FC琉球aleさくら 躍動!



FC琉球aleさくら関係者と選手4名が市役所を訪れ、県内で行われた、中学生および高校生を対象とした3大会で見事優勝し、九州大会へ出場することを報告しました。FC琉球aleさくらは、2024シーズンに発足した女子チーム、FC琉球さくらの下部組織で、中学生年代の選手が所属しています。嘉数中学校3年の新崎瑠蘭選手は「九州大会では今までやってきたことを発揮し、優勝して全国制覇します」と意気込みを語りました。

10/25 優れた経験と研鑽を重ねた技術で市の発展に貢献
令和6年度 宜野湾市優良建設業者表彰式



市が発注した建設工事において、優秀な成績で工事を完成した事業者を審査対象とした「令和6年度宜野湾市優良建設業者表彰式」が行われ、土木部門7社、建築部門1社、電気設備部門1社、建設工事関連部門1社が表彰されました。受賞者を代表して、株式会社 山内組の山内昌司代表取締役は「これからも宜野湾市の発展に寄与するために、更なる品質向上を目指し、技術力を高めてまいります」とあいさつしました。

9/22 研ぎ澄まされた渾身の一撃!
第35回 宜野湾市長杯剣道大会



志真志小学校体育館にて「第35回 宜野湾市長杯剣道大会」が開催されました。礼法や足さばき、構えや素振りによる打ち込みの試技によって審査する「基本競技の部」と、試合形式で競う「試合の部」が行われ、小さいながらも大人顔負けの気合で力強く打ち込む小学校1・2年生の部から、一瞬の隙を狙う迫力の打ち込みで激しくぶつかり合う中学生の部まで、白熱した試合が繰り広げられました。

9/24 「令和6年 秋の全国交通安全運動」
飲酒運転ダメ!「アイキャッチ作戦」実施



「令和6年 秋の全国交通安全運動(9/21~30)」において、宜野湾警察署・宜野湾地区交通安全協会主催の交通安全啓発活動「アイキャッチ作戦」が普天間門前広場で実施されました。本作戦には、宜野湾はごろもキッズ学童クラブ、FC琉球、株式会社プロソリューションの皆さんとともに本市職員も参加し、市民の安全な暮らしに寄与できるよう「運転中のスマホ禁止」や「飲酒運転撲滅」などを呼びかけました。

10/3 住宅防音事業の補助対象地域等の拡大・私道整備を要望
市議会から政策等の提言書を手交



4月から5月にかけて市議会が実施した「第9回議会報告及び市民との意見交換会」で寄せられたご意見・ご要望をもとに協議・検討した政策等の提言書が、呉屋等議長、伊波一男副議長および市議会各委員長から市長へ手交されました。佐喜眞淳市長は「市としても真摯に受け止め、ひとつひとつ丁寧に対応していくとともに、市民の皆さまに喜んでもらえる市政運営に取り組んでまいります」と話しました。

9/16 100歳!長寿!ちゃーがんじゅー!
令和6年度 慶祝訪問



市では、敬老の日に合わせ、100歳を迎える皆さまのうち、希望された方へ慶祝訪問を行います。今年度、宜野湾市では25人の方が100歳を迎えられることを受け、野嵩在住の宮城トヨさんのお宅を訪問しました。宮城さんは、日常のライフワークとして裁縫を嗜むほか、70代までは琉球舞踊の稽古に励んできました。宮城さんには、内閣総理大臣および玉城デニー沖縄県知事からの祝状が伝達され、宜野湾市長から祝状とお祝い金および記念品が贈呈されました。

9/18 じのーんに新たな文化財が誕生!
喜友名グスク香炉群 市登録文化財に登録



市教育委員会にて「喜友名グスク香炉群」の登録文化財認証式が行われました。香炉群は、かつては西普天間住宅地区跡地内にあった喜友名グスク内に安置され、現在は喜友名区内のお宮(合祀祠)へ移設されています。かねてより喜友名区自治会から、再度喜友名グスク内へ移設の要望があげられており、移設の前段として、文化財登録の運びとなりました。知念桂子会長は「これで終わりではなく、ぜひ移設を実現させたいです」と話しました。

9/19 誇りと愛着の育まれるまちづくり
ぎのわん地域づくり塾2024 入塾式



愛知区公民館において「ぎのわん地域づくり塾2024」の入塾式が行われ、16名の方々が市内外から参加しました。今年度は『宜野湾小学校区』をモデルとし、全9回のプログラムを通して、新たな地域活動を行うための知識や繋がりを学んでいきます。塾長を務める佐喜眞淳市長は「今回の講座を通して、出会った方々とのネットワークを築きながら、実りの多い受講となりますよう期待しております」と激励の言葉を寄せました。

9/3 国際的な人材育成を目的に!
中国廈門理工学院留学生派遣事業



中国廈門理工学院留学生派遣事業の第19期生である比嘉茉莉白さんが留学に向けたあいさつのため、市役所を訪問しました。比嘉さんは「大学生の時には留学に行く予定もありましたが、新型コロナウイルス流行の影響で中止になり、行くことが叶いませんでした。今回、宜野湾市の事業を通して学べる機会をいただいたので、頑張りたいと思います」と話しました。派遣期間は、令和6年9/9(月)から令和7年7月末までを予定しています。

9/6 世界にはばたく「宜野湾っ子」!
宜野湾市中学生語学研修派遣事業報告会



令和6年度 宜野湾市中学生語学研修派遣事業報告会が行われ、市内在住の中学生12人の生徒の皆さんが、研修で学んだ英語を披露しながら研修成果を報告しました。今年度は、東京都・山梨県を研修先として5泊6日の日程で外国語学習に取り組みました。研修に参加した真志喜中学校3年の島袋二誓さんは「間違えてもいいから英語で話す積極的な姿勢が大事なんだと学びました」と研修を振り返りました。

9/14 #ALLFOR916 思いを込めて
ハートプロジェクト投函イベント



「ぎのわんハートプロジェクト」の一環として、安室奈美恵さんの引退後から始まった、ハート型の小型型(#ALLFOR916記念)による押印(消印)サービスの投函イベントが、宜野湾市立体育館入口にて行われました。ファンの方々は「安室さんの歌が繋いでくれた縁です。今から手紙が届くのが楽しみです」と話しました。オリジナルポストは、宜野湾マリン支援センターに設置しています。